学校番号	1008

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）英文法応用	2	2	・総合英語 FACTBOOK English Grammar Standard in 27 Lessons ・総合英語 FACTBOOK English Grammar Standard　Workbook ・Pair & Share ① ・総合英語 be　4th Edition

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業の目的は、前年度に学習した英文法の知識をより深化させ、英語を話す、書く力を養うことである。そのために目標・場面・状況を設定した様々な活動を実践していく。各 Lesson で紹介される表現を具体的な状況で使えるように練習し、Think and Express の取組みを通じて自分の考えを明確に伝えられるようにすることで、将来的に英語での表現力を培うことができる。文法学習に留まることなく、話す（音読、やり取り、発表）、書く、の取組みにも重点を置き、学んだ英文法を活用しながら学習を進めることを期待する。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標			①興味や関心のある日常的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、相手の発話に応答しながら会話を続けることができる。 ②興味や関心のある社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、相手の意見を踏まえながら考えつつ整理して議論を続けることができる。 ③日常的な場面や状況において、多くの支援を活用すれば、相手と必要な情報のやり取りをしながら必要に応じて聞き返して意味を確認し、課題を達成することができる。	①日常的な話題に関する経験や描写を、多くの支援を活用すれば、考えや気持ちを交えながら、話を整理して伝えることができる。 ②社会的な話題に関する情報に基づいた説明を、多くの支援を活用すれば、相手の理解に配慮しながら、分かりやすく伝えることができる。 ③社会的話題に関して、多くの支援を活用すれば、相手の理解に配慮しながら考えを整理して、分かりやすく意見を展開することができる。	①日常的な話題に関する経験や描写を、多くの支援を活用すれば、考えや気持ちを交えながら、話を整理して書くことができる。 ②社会的話題に関して、多くの支援を活用すれば、相手に分かりやすいように考えを整理して、意見を展開して書くことができる。 ③日常的な場面や状況において、多くの支援を活用すれば、必要な情報を用いて、相手に分かりやすく考えを整理し、手紙やメール等を書いて課題を達成することができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	論理の構成や展開及び表現などに関する英語の表現を身につけているかを評価する。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができているかを評価する。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手 に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	第１章 文型(1) 第２章 文型(2) Plus 文型 第３章 時を表す表現(1) 第４章 時を表す表現(2) 第５章 完了形(1) 第６章 完了形(2)	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面での時を表す表現･完了形の表現を適切に用いて、会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、時を表す表現･完了形の表現を適切に用いて相手に伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、時を表す表現･完了形の表現を適切に用いて相手に返答することができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りでのなどを適切な時を表す表現･完了形の表現を使って説明することができる。 b: 自身が経験したことを整理して話す。 c: 聞き手にわかりやすいように試行錯誤して話す。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		書くこと	a: 正しい時を表す表現･完了形の表現を用いて英文を書くことができる。 b: 指定された場面の時や、主語を変えて英文を書くことができる。 c: 自身の経験や話題を正しい時を表す表現･完了形の表現を使って英文を書こうとする。	a.パフォーマンス評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス評価
	中間考査			
	第７章 助動詞(1) 第８章 助動詞(2) 第９章 助動詞(3) 第１０章 受動態(1) 第１１章 受動態(2)	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面での助動詞･受動態の表現を適切に用いて、会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、助動詞･受動態の表現を適切に用いて相手に伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、助動詞･受動態の表現を適切に用いて相手に返答することができる。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りでのなどを適切な助動詞･受動態の表現を使って説明することができる。 b: 自身が経験したことを整理して話す。 c: 聞き手にわかりやすいように試行錯誤して話す。	a.パフォーマンス評価、定期考査 b.ルーブリック、定期考査 c.パフォーマンス評価
		書くこと	a: 正しい助動詞･受動態の表現を用いて英文を書くことができる。 b: 指定された場面の時や、主語を変えて英文を書くことができる。 c: 自身の経験や話題を正しい助動詞･受動態の表現を使って英文を書こうとする。	a.パフォーマンス評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス評価
	期末考査			

2	第１２章 不定詞(1) 第１３章 不定詞(2) 第１４章 不定詞(3) Plus 不定詞 第１５章 動名詞(1) 第１６章 動名詞(2)	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面での不定詞･動名詞の表現を適切に用いて、会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、不定詞･動名詞の表現を適切に用いて相手に伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、不定詞･動名詞の表現を適切に用いて相手に返答することができる。	a.パフォーマンス 評価、定期考査 b.ルーブリック、定期 考査 c.パフォーマンス 評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りでのなどを適切な不定詞･動名詞の表現を使って説明することができる。 b: 自身が経験したことを整理して話す。 c: 聞き手にわかりやすいように試行錯誤して話す。	a.パフォーマンス 評価、定期考査 b.ルーブリック、 定期考査 c.パフォーマンス 評価
		書くこと	a: 正しい不定詞･動名詞の表現を用いて英文を書くことができる。 b: 指定された場面の時や、主語を変えて英文を書くことができる。 c: 自身の経験や話題を正しい不定詞･動名詞の表現を使って英文を書こうとする。	a.パフォーマンス 評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス 評価
	中間考査			
	第１７章 分詞(1) 第１８章 分詞(2) Plus 分詞 第１９章 比較(1) 第２０章 比較(2) Plus 比較	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面での分詞･比較の表現を適切に用いて、会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、時を表す分詞･比較の表現を適切に用いて相手に伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、分詞･比較の表現を適切に用いて相手に返答することができる。	a.パフォーマンス 評価、定期考査 b.ルーブリック、定期 考査 c.パフォーマンス 評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りでのなどを適切な分詞･比較の表現を使って説明することができる。 b: 自身が経験したことを整理して話す。 c: 聞き手にわかりやすいように試行錯誤して話す。	a.パフォーマンス 評価、定期考査 b.ルーブリック、 定期考査 c.パフォーマンス 評価
		書くこと	a: 正しい分詞･比較の表現を用いて英文を書くことができる。 b: 指定された場面の時や、主語を変えて英文を書くことができる。 c: 自身の経験や話題を正しい分詞･比較の表現を使って英文を書こうとする。	a.パフォーマンス 評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス 評価
	期末考査			
3	第２１章 関係詞(1) 第２２章 関係詞(2) 第２３章 関係詞(3) 第２６章 仮定法(1) 第２７章 仮定法(2)	話すこと （やり取り）	a: 事柄や話題、場面での関係詞･仮定法の表現を適切に用いて、会話することができる。 b: 事柄や話題、場面について、関係詞･仮定法の表現を適切に用いて相手に伝えることができる。 c: 事柄や話題、場面について、関係詞･仮定法の表現を適切に用いて相手に返答することができる。	a.パフォーマンス 評価、定期考査 b.ルーブリック、定期 考査 c.パフォーマンス 評価
		話すこと （発表）	a: 自分のことや、身の回りでのなどを適切な関係詞･仮定法の表現を使って説明することができる。 b: 自身が経験したことを整理して話す。 c: 聞き手にわかりやすいように試行錯誤して話す。	a.パフォーマンス 評価、定期考査 b.ルーブリック、 定期考査 c.パフォーマンス 評価
		書くこと	a: 正しい関係詞･仮定法の表現を用いて英文を書くことができる。 b: 指定された場面の時や、主語を変えて英文を書くことができる。 c: 自身の経験や話題を正しい関係詞･仮定法の表現を使って英文を書こうとする。	a.パフォーマンス 評価 b.ルーブリック c.パフォーマンス 評価
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度